

のぞましい家庭教育のしおり

～ 継続するために大切なこと～

みなさんは、何か続けて行っていることがあるでしょうか。私も1年の初めに、「日記を書こう」「運動しよう」「〇〇の練習をしよう」と決意をしますが、なかなか続かないことが多く、途中であきらめていました。何とか続けられないかと思っていますが、大きな目標ほど続かないような気がします。

しかし、小学生の頃は、毎日していたお手伝いがあります。それは、朝、新聞受けから新聞を取ってくること。夕方、お風呂の準備をしてお湯を入れること。とても簡単なお手伝いですが、このことは、毎日続けていました。このお手伝いをしたからお小遣いがもらえる、ということもなく、朝新聞を取ってきて、夕方お風呂の準備をしていました。どうしてこのお手伝いを続けることができていたのか考えてみると、簡単なお手伝いだったこと、家族から「ありがとう」や「助かるよ」という言葉をもらっていたこと、両親が働いていて大変そうだと思っていたこと、お手伝いができなかったときに叱るのではなく、見守ってくれていたことが、続けられた原因ではなかったかと思います。

今、私たちは何かに追われるかのように時間を気にしています。子どもたちにも、ついつい急がせてしまう言葉が増えています。でも、1年生の子は夏に毎日朝顔に水やりを、2年生の子は野菜に水やりをして、咲いた花やできた野菜を大切にしていました。

続けて行うことのよさは、きっと誰もが分かっているのですが、続けられる力を付けるには、ほんの少しでも楽しかったり、うれしかったりする経験や、時間の余裕が必要なでしょう。子どもたちができそうなお手伝いや、スキルアップのために続けられそうなことを家族で話し合っ、一つでもやってみませんか。初めの一歩が次の二歩目三歩目となり、力となります。「継続は力なり」です。私も、今年は健康のための運動を続けていきたいと思っています。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 **子ども相談センター** ～子どもに関する相談の総合的な窓口～
月～土曜：9時～17時(国民の祝日・年末年始を除く)

☎：62-6313 電話相談・来室相談

・刈谷市 **青少年電話相談** ☎：23-8888 月～金曜 9時～17時

・県教育相談 **こころの電話** ☎：052-261-9671 10時～22時

